

---

◇長谷川 幸 子 議 員

○議長（森元淑雄） 次に、14番、長谷川幸子議員の一般質問を許可いたします。長谷川幸子議員は登壇願います。

（14番 長谷川幸子議員 登壇）

○14番（長谷川幸子） 通告に基づいて一般質問いたします。

女性のがんの対策について。

はじめに、乳がん検診についてお伺いします。

国立研究開発法人国立がん研究センターの2020年の統計によると、女性のがん罹患数第1位は乳がんです。その数9万1,531人で、女性の9人に1人が罹患する数とのこと。ほかの病気と同様に、検診などで早期発見し、治療すれば乳がんで亡くなることは防ぐことができます。乳がん検診には、マンモグラフィーと呼ばれる乳房レントゲン検査が一般的で、当町においても40歳以上で偶数年齢の女性が自己負担1,500円で受けることができます。これは、早朝総合健診で受けられます。この検診は、乳房を片方ずつプラスチックの板で挟んで撮影することで、小さいしこりや石灰化を見つける乳房専用のX線検査です。乳房を圧迫して薄く伸ばすことで乳腺が広がり、少ない放射線により鮮明に病変が観察できます。

圧迫時間は数十秒ほどですが、痛みを感じる人も少なくありません。私も検査で痛みを感じました。ほかに超音波検査などがありますが、最近注目されているのは、無痛MRI乳がん検診という検査です。MRI検査なので、痛くはないのはもちろん、胸を見られる心配もありません。マンモグラフィー検査と違い、被曝ゼロです。マンモグラフィー検査の乳がん発見率は1,000人中3人に対して、無痛MRI乳がん検診では1,000人中15人見つかるそうです。

また、片方の乳房を切除し、挿入物を入れている方や豊胸手術をされた方など、マンモグラフィー検査が受けられない方もこの検診で対応できるそうです。

このように、MRI乳がん検診はメリットが大きい検査ですが、受診できるのは、秋田県内では秋田市の中通総合病院と仙北市立角館総合病院の2か所しかありません。

また、検査費用も比較的高額で、中通総合病院では税込み1万9,800円、角館総合病院では税込み2万2,000円となっています。

仙北市では、市民で無痛MRI検診を受ける際には半額の助成制度があるそうです。角館総合病院では令和5年8月から実施され、令和5年度の利用者は18人、内訳は仙北市14人、大仙市3人、秋田市1人で、令和6年度は既に20人を超え、他市や県外からも利用されている状況とのことで

す。

そこで、1点目の質問ですが、私は本町の乳がん検診の選択肢の1つにこの無痛MRI乳がん検診も加えるべきと思っておりますが、実施のお考えはあるでしょうか。

また、実施する場合、仙北市の助成金と同等までとはいかないまでも、本町のマンモグラフィー検査への助成と同額程度の補助ができないものかお伺いします。

次に、2点目の質問として、子宮頸がんワクチンのキャッチアップについてお伺いします。

第64回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会で議論が行われ、今年度末で終了予定だったキャッチアップ接種について、令和7年3月末までに1回以上接種した者を対象として、接種期間を最大1年間延長する経過措置を設けるとしました。

また、経過措置の対象について、キャッチアップ接種の対象者、平成9年度生まれから平成19年度生まれの女子に加え、令和6年度が定期接種の最終年度である者、平成20年度生まれの女子も対象とするとしてしました。

このことに対する周知、広報については、自治体の準備や医療機関の接種体制を確保するため、経過措置の内容についてできるだけ速やかに情報提供を行う必要があるとし、また、対象者が接種について検討、判断できるよう、経過措置の内容と合わせてワクチンの有効性、安全性についても引き続き丁寧かつ確実に情報提供を行うことが重要であるとしています。

今後の接種スケジュールなどについて、速やかな情報提供を行うべきと考えますが、どのように進めていくのかお伺いいたします。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長は登壇願います。

（町長 松田知己 登壇）

○町長（松田知己） ただいまのご質問にお答えいたします。

はじめに、町の乳がん検診についてですが、例年春の早朝総合健診において、ほかのがん検診などと一緒に受診できるようにしており、春の健診で受診しなかった場合には、秋の追加健診日を設けております。また、年度末年齢が41歳から45歳までの方には無料クーポン券を発行し、随時医療機関での受診も可能としているところです。

その検診費用についてですが、年齢により検査方法も異なり、また、医療機関によっても料金に違いがありますが、令和6年度においては、4,840円から7,260円となっております。

その自己負担額ですが、生活保護受給世帯や無料クーポン券対象は負担なし、それ以外の方は、議員がご説明のとおり、一律1,500円としております。その差額は町が助成しており、令和5年度は861人が受診しております。

乳がん検診の方法は、問診のほかマンモグラフィーと呼ばれる乳房X線検査により行っており、国の指針を踏まえ、40歳以上の方を対象に、検診間隔2年に1度マンモグラフィーによる検診を推奨しております。

その検診で発見された疑わしい症例の精密検査では、MR I 検査が有効であるという研究報告がある一方、無痛MR I 乳がん検診については、まだ検査例が少ないためか、死亡率減少効果は現状では明らかではないという見解を示す資料もあり、町としては、専門家のご意見を伺うなどし、無痛MR I 検査に関する情報を集めた上で確認するとともに、国の指針も踏まえながら、今後乳がん検診の選択肢に加えることがよいかどうか検討してまいります。

次に、HPVワクチンのキャッチアップ接種についてですが、誕生日が1997年4月2日から2008年4月1日の女性で過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない方を対象に、2022年4月から2025年3月の3年間公費で接種できる取組となっております。

町のキャッチアップ接種の状況ですが、10月末時点で対象者が556人、接種された方が338人、このうち接種完了していない方が131人、未接種の方は218人となっております。

キャッチアップ接種の期間終了後の取扱いについてですが、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会において議論が行われ、期間中に1回以上接種されている方については、期間終了後も公費で3回の接種を完了できるなどの経過措置を設けるほか、周知、広報についても重要であるとする結論が出されております。

今後については、この方針の下、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会を経て、予防接種法施行令を改正し、令和7年4月1日から施行する予定となっております。

その対応に関する今後のスケジュール及び周知、広報等については、12月中に開催予定の自治体説明会で国から示されるとのことですので、町ではその内容に従い、適切な対応を図ってまいりたいと存じます。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）長谷川幸子議員の再質問を許可いたします。

○14番（長谷川幸子） 質問ではありませんが、このキャッチアップの件についてですけれども、周知、広報ということで、町広報やホームページでという周知の方法があると思いますが、ぜひ個別に対応していただければということをお願いして質問を終わりたいと思います。よろしくお願いたします。

○議長（森元淑雄） 質問ではありませんか。（「はい」の声あり）

これで14番、長谷川幸子議員の一般質問を終わります。